

経済情勢

2014年4月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

- 20日、DANE（国家統計庁）は、2013年通年の実質GDP成長率が前年比+4.3%であった旨を発表した。
- コロンビアのマツダ工場は厳しい生産状況を理由に、4月30日をもって操業を停止する。
- 2013年の海外直接投資（FDI）流入額は167.72億ドルと、前年比+8%であった。

II 主な出来事

<国内情勢>

（1）実質GDP成長率（20日、DANE発表）

2013年第4四半期及び2013年通年の実質GDP成長率（以下、成長率）は、それぞれ前年同期比+4.9%、前年比+4.3%であった。2013年の成長率は、前年の成長率の+4.0%を上回った。産業別にみると、建設業は2012年の+6.0%から2013年の+9.8%となり好調であった。他方、製造業（▲1.2%）は前年同様、唯一のマイナス成長を記録した。

（2）経済見通し：IMF（31日、当地紙報道）

IMFはコロンビアの2014年の経済成長率を+4.3%と予測した。

（3）インフラ

（ア）港湾貨物輸送量（7日、当地紙報道）

交通・港湾監督庁は、2013年の国内の港湾貨物輸送量は1.83億トンであり、前年比+5.5%であった旨発表した。カルタヘナ港の輸送量は3,250万トン、ブエナビントゥーラ港の輸送量は1,630万トンであった。

（イ）太平洋鉄道（22日、当地紙報道）

21日、アンドラデ国家インフラ庁（ANI）長官は、ブエナビントゥーラ〜ジュンボ間の太平洋鉄道第2フェーズの開通式に出席した。同路線開通によって、石油、石炭、砂糖、穀物、コーヒー等の輸送量が毎月1万トンから8万トンに拡大する見込み。

（4）企業動向

（ア）古河電工（11日、当地紙報道）

昨年コロンビアに進出した光ファイバを製造する古河電工は、バジェ・デル・カウカ県の工場における生産開始に伴い、国内市場のシェアが30%に達することを見込んでいる。

（イ）マツダ自動車（19日、当地紙報道）

コロンビアのマツダ工場は、4月30日をもって操業を停止する。ベネズエラ及びエクアドルの輸入規制により、自動車生産が大幅に低下し、工場の稼働率が30%となり、一時は1,600人いた従業員も500人まで減少し、厳しい生産状況にあった。

<対外経済関係>

（1）対米FTA関連（25日、当地紙報道）

米国農務省は、対コロンビア FTA に関し、米国からは食料加工品や高付加価値商品の輸出が拡大し、コロンビアからも花卉、コーヒー、砂糖の農産品の輸出が伸びており、二国間の貿易は順調である旨述べた。

(2) **対オランダ関係** (5日, 当地紙報道)

コロンビアを訪問中のマクシマ・オランダ王妃は、コロンビア側閣僚との意見交換の際に、オランダ・コロンビア商工会議所の創設により、7ヶ月の間に登録企業数が70社となり、同国からのコロンビア向け投資額も5.3億ドルに達し、二国間の経済関係は良好である旨述べた。

(3) **太平洋同盟関係** (7日, 当地紙報道)

6日、ボゴタ、サンティアゴ(チリ)、メキシコ・シティの商工会議所は、民間セクターによる情報交換、政府調達、投資誘致を通して太平洋同盟の貿易・投資を促進するための覚書に署名した。

<経済指標>

(1) **経済活動全般**

(ア) 実質工業生産指数 (DANE 発表)

1月の実質工業生産指数(コーヒー豆加工を除く)は前年同月比+0.1%であった。

(イ) 実質小売売上高指数 (DANE 発表)

1月の実質小売売上高指数は前年同月比+6.5%であった。自動車・バイクが同+19.9%、家電製品・家具が同+6.3%を記録した。

(ウ) 消費者信頼感指数 (Fedesarrollo 発表)

2月の消費者信頼感指数(ICC)は、15.7%と前月(26.6%)を10.9%ポイント下回った。一方、前年同月比では0.8%ポイント改善した。

(2) **産業動向**

(ア) 原油生産量 (鉱山・エネルギー省発表)

2月の石油生産量は日量100.2万バレルであり、前年同月比+0.44%となった。100万バレル超えは4ヶ月連続となる。

(イ) コーヒー

(i) 生産 (コーヒー生産者連盟(FNC)発表)

FNC加盟コーヒー生産者による2月のコーヒー生産量は87.4万袋(1袋=60kg)と、前年同月比で+39.8%と大幅に増加した。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

3月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=2.11ドル(前月は同1.72ドル, 前年同月は同1.62ドル)であった。

(3) **物価・雇用** (DANE 発表)

(ア) 物価

2月の消費者物価上昇率は+2.32%(前年同月比, 以下同), 生産者物価上昇率は+1.22%であった。

(イ) 雇用

2月の全国平均失業率は10.7%と、前年同月の11.8%より1.1ポイント改善した。また、主要13都市の平均失業率も11.2%と、前年同月の12.3%より1.2ポイント改善した。

(4) 貿易収支 (DANE 発表)

1月の貿易収支 (FOB) は、1.57億ドルの黒字であった。輸出 (FOB) 全体では、前年同月比▲1.5%の47.75億ドル、輸入 (CIF) 全体では、前年同月比▲6.6%の48.44億ドルとなった。

(5) 海外直接投資 (中銀発表)

2013年の海外直接投資 (FDI) 流入額は167.72億ドルと、前年の155.29億ドルより8%増となった。ロハス商工観光大臣は、2014年のFDIが180億ドルに達する見込みである旨発表した。

Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	13/1	13/11	13/12	14/1
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	▲1.7	▲0.6	1.5	0.1
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	▲2.5	▲1.4	2.6	▲0.4
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	1.3	5.3	4.1	6.5
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	209.4	202.7	208.1	176.5
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	13/2	13/12	14/1	14/2
(ア) 全国平均	11.8	8.4	11.1	10.7
(イ) 主要13都市平均	12.3	10.6	12.3	11.2
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	13/2	13/12	14/1	14/2
(ア) 前月比	0.44	0.26	0.49	0.63
(イ) 前年同月比	1.83	1.94	2.13	2.32
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	13/3	14/1	14/2	14/3
	3.25	3.25	3.25	3.25
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	13/3	14/1	14/2	14/3
(ア) 月初	1,814.28	1,926.83	2,021.10	2,046.75
(イ) 月末	1,832.20	2,008.26	2,054.90	1,965.32
(ウ) 最高値	1,832.20	2,013.17	2,054.90	2,052.51
(エ) 最安値	1,797.28	1,924.79	2,021.10	1,965.32
(6) 株式指数COLCAP ※2013年10月以前はIGBC指数 (単位：ポイント，出所：COLCAP)	13/3	14/1	14/2	14/3
(ア) 月初	14,785.82	1,611.77	1,448.74	1,504.44
(イ) 月末	14,135.35	1,460.04	1,520.74	1,688.30
(ウ) 最高値	14,785.82	1,611.77	1,546.07	1,688.30
(エ) 最安値	13,925.71	1,452.68	1,448.74	1,504.11
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	13/1	13/11	13/12	14/1
(ア) 輸出額 (FOB)	4,734.7	4,934.1	5,272.1	4,775.2
(イ) 同 年内累計	4,734.7	53,539.7	58,821.9	4,775.2
(ウ) 輸入額 (FOB)	4,948.0	4,806.1	4,715.5	4,617.8
(エ) 同 年内累計	4,948.0	51,906.5	56,622.1	4,617.8
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	13/1	13/11	13/12	14/1
	322.2	325.8	386.1	318.8
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省) 注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	13/3	14/1	14/2	14/3
	8,752	8,566	8,566	8,586
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：ECONOMETRIA)	13/2	13/12	14/1	14/2
(ア) 単月	22,888	25,957	22,993	24,371
(イ) 年内累計	41,882	293,846	22,993	47,364

(了)